

富士山の火山活動解説資料（平成 24 年 5 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード¹⁾ 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはありません。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2、表 1、図 3）

17 日に実施した現地観測では、2 月 11 日に湯気が認められた富士山北西麓の 3 合目付近（標高 1760m 付近）において、前回の 4 月 5 日の現地観測に引き続き、湯気は認められませんでした。また、地中温度、地表面温度分布にも異常は認められませんでした。

萩原（富士山山頂の東南東 18km）に設置してある遠望カメラによる観測では、悪天候のため不明の期間がありますが、その他の期間は、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 4※、図 5※）

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生した（マグニチュード¹⁾ 6.4）の地震以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しました。その後、地震活動は低下してきています。

深さ 15km 付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況でした。

火山性微動や浅部の低周波地震は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

・地殻変動の状況（図 6※-①※②※③※）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

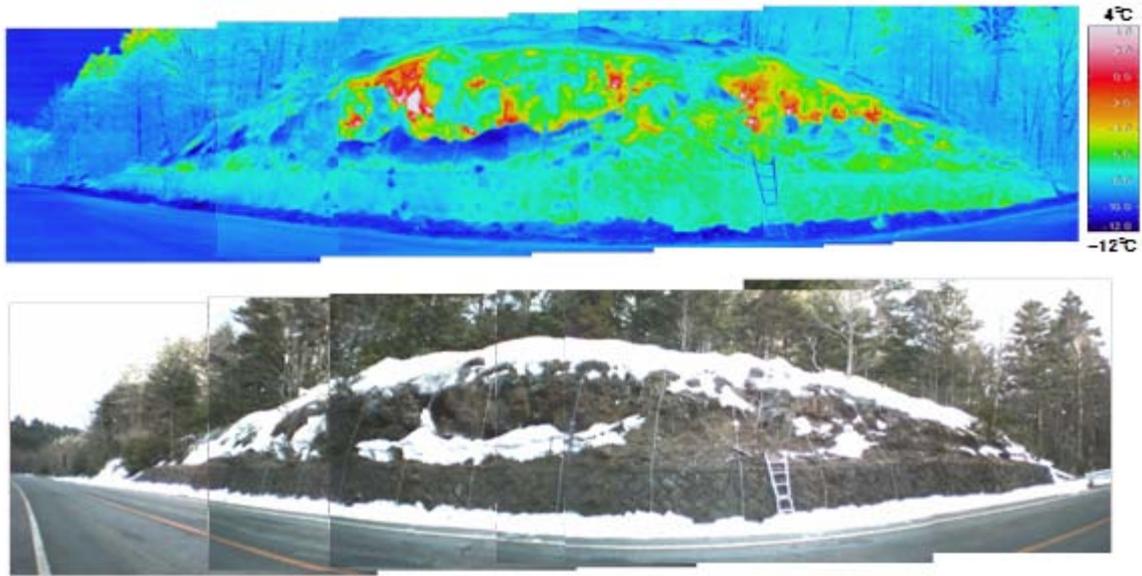


図 1 富士山 山頂部の状況
(5 月 19 日 萩原遠望カメラによる)

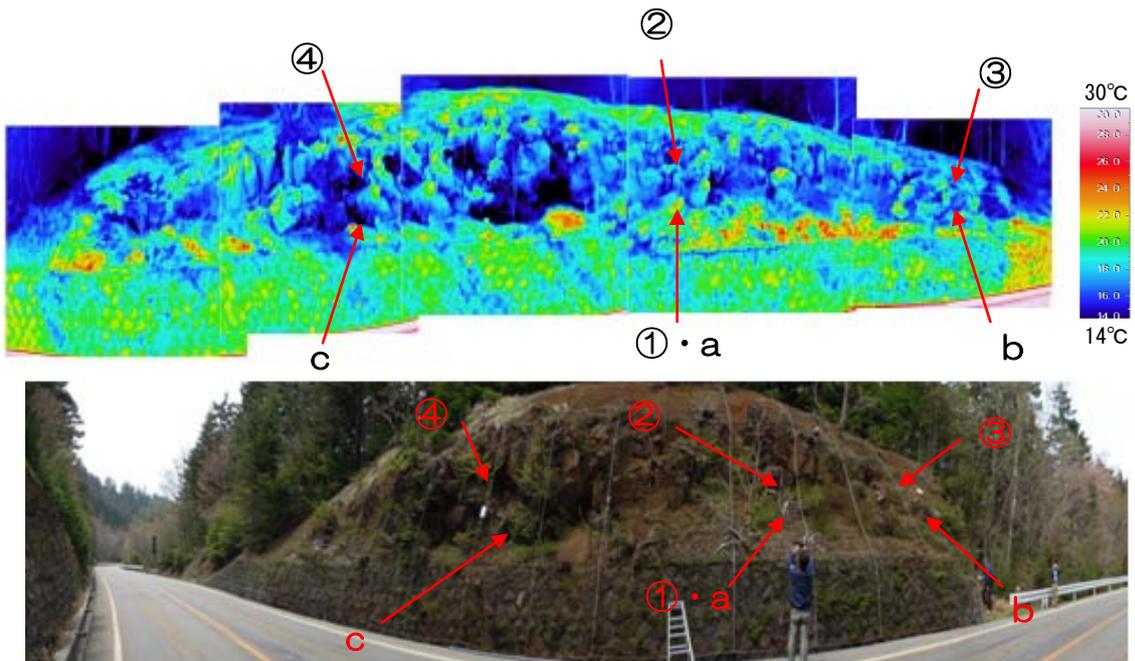
この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 6 月分）は平成 24 年 7 月 9 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。



2012 年 2 月 11 日撮影 上段：赤外熱映像²⁾ 下段：可視画像



2012 年 5 月 17 日撮影 上段：赤外熱映像²⁾ 下段：可視画像

図 2 富士山北西麓の 3 合目付近（標高約 1760m）の状況と地表面温度分布

赤外熱映像²⁾ は、温度差を強調して撮影しています。日射による地表面温度の変化以外は、地表面温度分布に変化は認められません。

①～④は熱電対温度計³⁾ による温度観測地点

a～cは温度ロガーによる温度連続観測地点

2) 赤外熱映像装置を用いて観測しています。物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

表1 富士山北西麓3合目付近（標高約1760m）の熱電対温度計³⁾による地中温度観測結果

測定地点	測定環境	深さ cm	観測日				
			2012.02.11	2012.02.16	2012.02.27	2012.04.05	2012.05.17
①	岩隙間	220	08:15 11.0℃ (-7℃) 12:30 12.6℃ (-3℃)	実施せず	13:57 11.3℃ (-2℃)	13:39 7.5℃ (1.9℃)	14:07 12.7℃ (14℃)
②	岩隙間	10	08:50 10.0℃ (-7℃)	13:00 9.9℃ (-4℃)	13:40 10.9℃ (-2℃)	13:44 10.0℃ (1.9℃)	実施せず
③	地中	5 15 25 35 45 55 65	13:25 9.2℃ 11.9℃ 13.6℃ 14.2℃ 14.5℃ 14.4℃ 14.5℃ (-2℃)	実施せず	17:00 4.1℃ 6.4℃ 7.2℃ 8.3℃ 8.2℃ 7.8℃ 8.1℃ (-6℃)	10cm 8.1℃	13:50 18.2℃ 17.1℃ 15.6℃ 15.5℃ 14.7℃ 13.5℃ 13.0℃ (14℃)
④	岩隙間	100	実施せず	13:15 8.2℃ (-4℃)	13:25 13.1℃ (0℃)	13:50 6.2℃ (1.9℃)	実施せず

温度観測地点①～④の位置は図2を参照

() : 測定時の外気温

3) 異なる2種の金属接点間の温度差によって熱起電力が生じる現象を利用した温度センサーで、センサーを直接熱源に当てて温度を測定します。

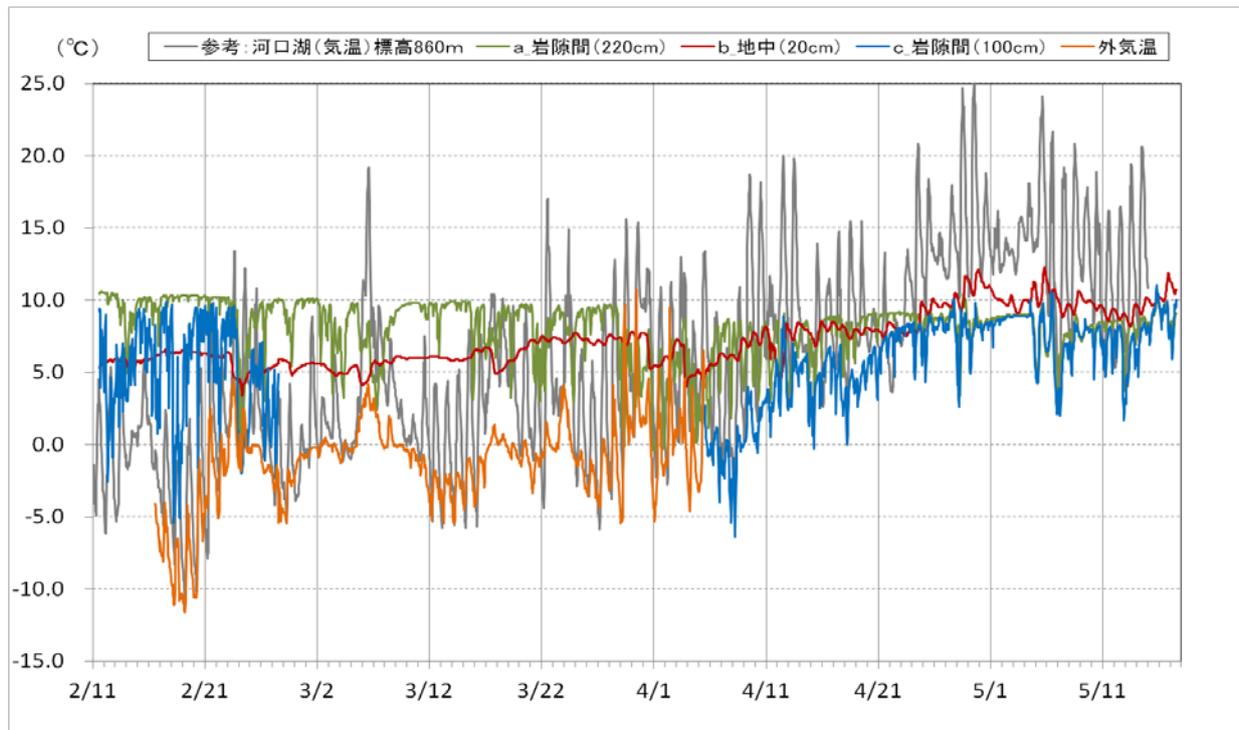


図3 富士山北西麓3合目付近（標高約1760m）の温度ロガーによる温度連続観測結果

（2012年2月11日～2012年5月17日）温度連続観測地点a～cの位置は図2を参照。

日変化が大きく見られ、天候等の影響によるもので、火山活動に起因する温度変化ではないと考えられます。

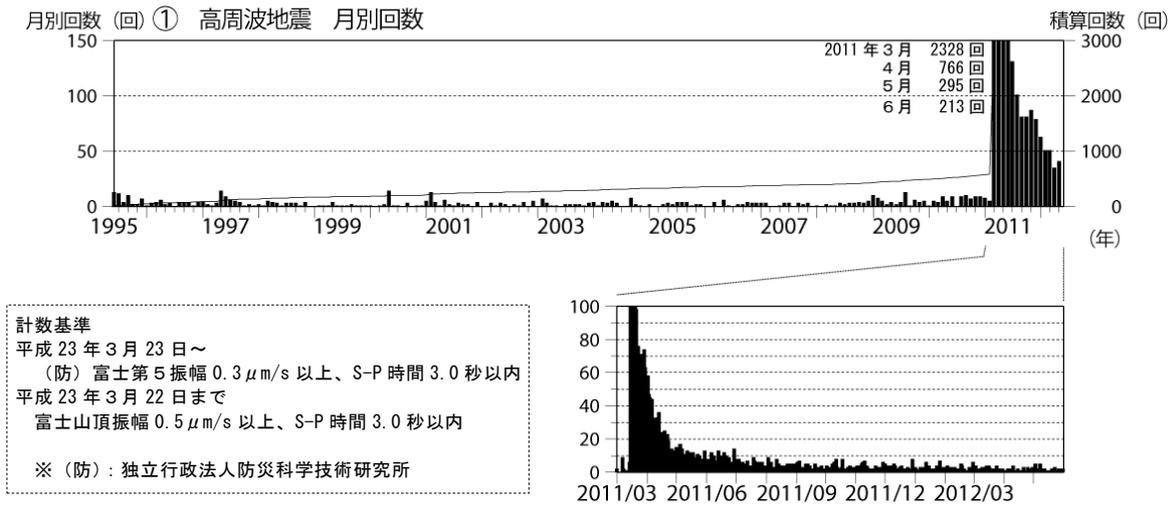


図4※ 富士山 月別及び日別地震回数（1995年6月～2012年5月）

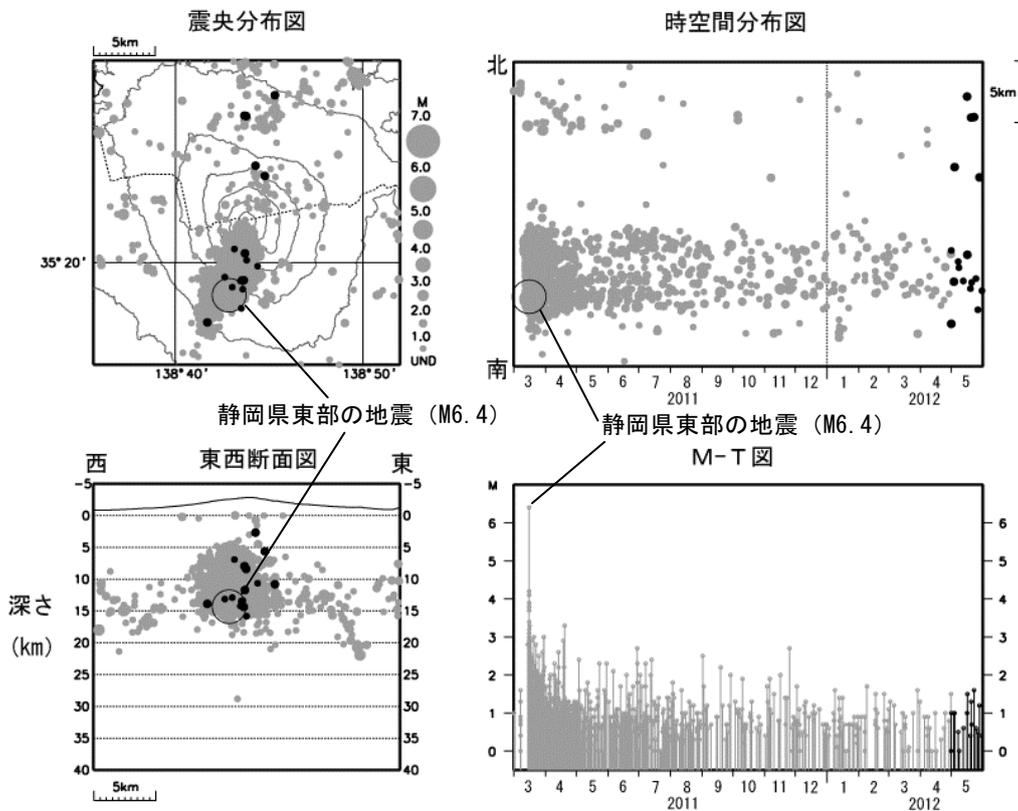
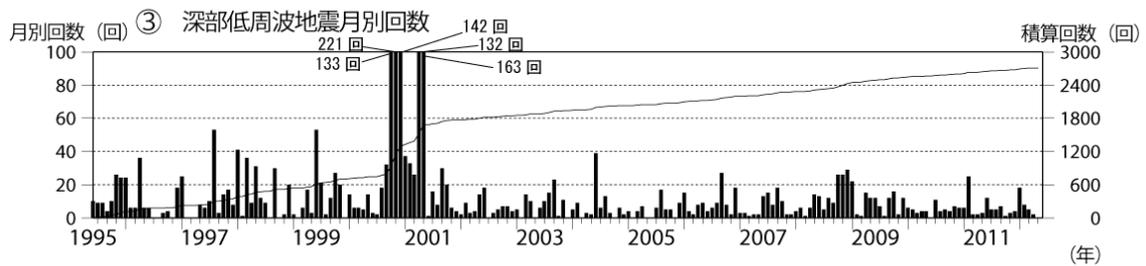


図5※ 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（1999年10月1日～2012年4月30日）

● : 1999年10月1日～2012年3月31日 ● : 2012年4月1日～4月30日

時空間分布図及びM-T図は2011年3月以降の活動を記載しています。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

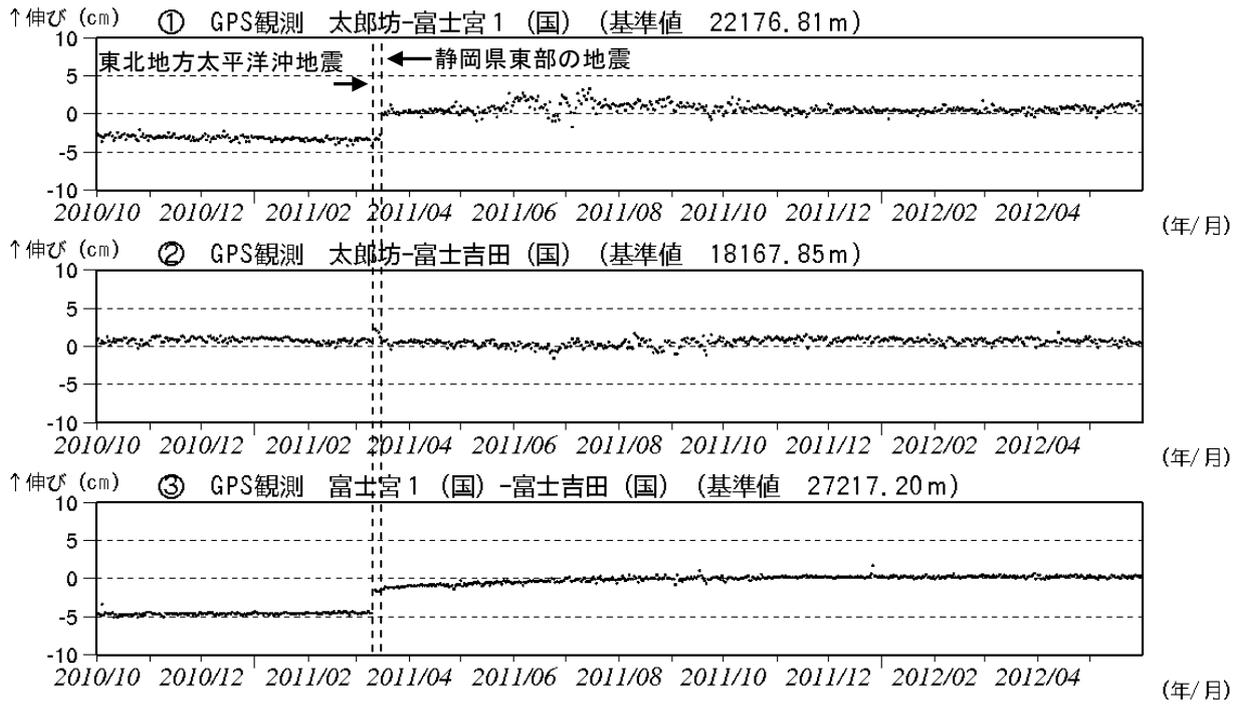
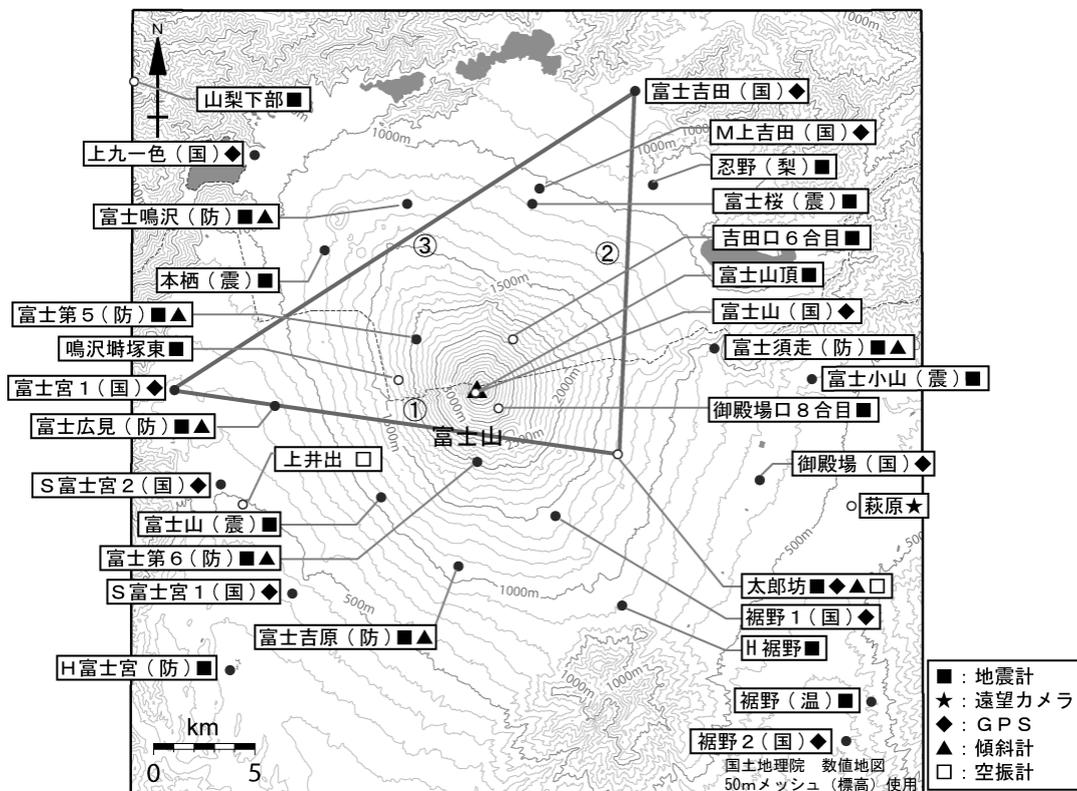


図6※ 富士山 GPS連続観測による基線長変化（2010年10月1日～2012年5月31日）

（国）：国土地理院

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震、及び2011年3月15日に発生した静岡県東部の地震の影響により、データに飛びがみられます。

①※②※③※は図5のGPS基線①～③に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（震）：東京大学地震研究所、

（梨）：山梨県、（温）：神奈川県温泉地学研究所

図7 富士山 観測点配置図
GPS基線①～③は図4※の①※②※③※に対応しています。